

# 防災科研ニュース

No.176 (C) 独立行政法人防災科学技術研究所 2012.3

## 特集

- ・第3期中期計画のスタートにあたって
- ・基盤的な高精度地震火山観測研究
- ・地殻活動の予測技術の向上にむけて
- ・火山活動の観測予測技術開発
- ・都市圏における複合水災害の発生予測に関する研究
- ・高度降積雪情報に基づく雪氷災害軽減研究
- ・実大三次元震動破壊実験施設を活用した社会基盤研究
- ・災害リスク情報に基づく社会防災システム研究

## 災害調査研究速報

- ・玉川温泉の雪崩災害と「ごしもざらめ雪」

## 行事開催報告

- ・火山災害軽減の方策に関する国際ワークショップ2011 / 岩手県八幡平市で積雪観測講習会を実施 / 防災研究フォーラム「東日本大震災から学ぶ」で第10回シンポジウム / パシフィコ横浜で開催された第16回震災対策技術展に出展 / 「東日本大震災における災害支援活動への功績」により宮城県社会福祉協議会会長表彰を受賞

## 受賞報告

- ・「マルチパラメータレーダによる降雨量推定手法の開発」で第21回つくば奨励賞を受賞 / 阿部雪氷防災研究センター新庄支所長が「平成23年度雪崩災害防止功労者表彰」を受賞

## 特集 防災科研 第3期の取り組み

防災科学技術研究所（防災科研）は、2001年4月に国立の試験研究機関から独立行政法人となりました。独立行政法人となってからは、5年ごとに国の定めた中期目標を実現するように中期計画を策定し研究開発活動を進めています。

2011年4月からは第3期中期計画期間となり、組織体制を大幅に再編するとともに、以下の7本の研究プロジェクトがスタートしました。

- ①基盤的な高精度地震火山観測研究
- ②地殻活動の観測予測技術開発
- ③火山活動の観測予測技術開発
- ④都市圏における複合水災害の発生予測に関する研究
- ⑤高度降積雪情報に基づく雪氷災害軽減研究
- ⑥実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）を活用した社会基盤研究
- ⑦災害リスク情報に基づく社会防災システム研究

本特集号では、第2期の成果について簡単に振り返るとともに、第3期の組織体制や各研究プロジェクトについてご紹介します。

なお、本特集号の執筆がほぼ終わった昨年3月11日に、東北地方太平洋沖地震が発生しました。この大震災を踏まえて、防災科研では新たに「日本海溝海底地震津波観測網」「全国を対象とした津波ハザード評価」「E-ディフェンスの長周期地震動対応化」などの新しい事業を実施することとなりました。これらについても、本特集の中で簡単にご紹介していますが、より詳細につきましては、別途情報発信させていただく予定です。

私事で恐縮ですが、2007年冬号（No.158）から、本号まで、合計19号の特集号の企画・編集を担当させていただきましたが、この度、その任を離れることとなりました。今後は新たな体制で防災科研ニュースが刊行されることとなりますが、引き続きご愛読をお願いいたします。

（アウトリーチグループリーダー 関口宏二）